



## Tanabe East Rotary Club in 2017-18

2017-18年度RI会長: イアン H.S. ライスリー  
 第2640地区ガバナー: 岡本 浩  
 田辺東ロータリークラブ  
 創立: 昭和49年5月15日  
 会長: 木村 壽一  
 幹事: 片井 貢



ロータリー:  
変化をもたらす

例会場/事務所: 田辺市下屋敷町81-10  
 きのくに信用金庫田辺支店3F  
 Tel 0739-24-6427 Fax 0739-34-5008  
<http://tanabe-east-rc.com/>  
 E-mail info@tanabe-east-rc.com  
 例会: 毎週水曜日 12:30~  
 ビジターフィー ¥2,000

## ○会長報告 会長 木村 壽一



ンペ」が開催されました。会長 木村、幹事 片井貢君、会長エレクト 武田静也君、佐田一三君、坂本正人君に出席していただきました。ご苦労様でした。

■本日のお客様は、株式会社 中村工務店 中村 文雄様と、株式会社 横田 横田 圭亮様です。後ほど宜しくお願い致します。

■3月31日(土) グランドホテル二葉に於いて、富田林RCと太子RCと田辺3RCとの「花見例会及び懇親会」、4月1日(日) 橋本カントリークラブに於いて「ゴルフコ

■4月7日(土)、8日(日) 第1分区全体集会在開催されます。7日(土) ホテルなぎさやに於いて前夜祭(懇親会)、8日(日) 熊野那智大社正式参拝、青岸渡寺正式参拝、その後、災害啓発センターに於いて講演会が開催されます。会長 木村、幹事 片井貢君、副会長 吉田和枝君、会長エレクト 武田静也君、次期幹事 野村憲司君、地区委員 沖史郎君、前ガバナー補佐 坂本正人君に出席していただきます。ご苦労様ですが宜しくお願いします。

## ○幹事報告 幹事 片井 貢



## ■例会日時変更

◎那智勝浦RC 4月12日(木) → 4月 8日(日)14:30~  
 場所: 和歌山県土砂災害啓発センター  
 <第1分区全体集会>

## ■メイクアップ

◎3月31日、4月1日 富田林RCと太子RCと田辺3RCとの花見例会及び懇親会とゴルフコンペ  
 片井貢君、木村壽一君、佐田一三君、坂本正人君、武田静也君

## ■回覧

- ◎「英語版ロータリアン4月」
- ◎南方熊楠顕彰会より  
 「第28回 南方熊楠賞 授賞式 日時: 5月12日(土)」  
 「第28回 南方熊楠賞 授賞式への参加について(お願い)」 「熊楠ワークス 第51号」
- ◎RI日本事務局より  
 「財団室NEWS」
- ◎岡本ガバナー事務所より  
 「2020-2021年度ガバナー候補者推薦書提出のお願い」  
 「ガバナー候補者推薦書」  
 「2018 JAPAN RYLAセミナーのご案内」  
 「2018 JAPAN RYLAセミナー概要のお知らせ」

## ■連絡

- ◎ロータリーの友4月号が届いています。各自トレーに入れてあります。
- ◎2018-2019年度 委員会組織図を各自トレーに入れてあります。

## ○本日の唱歌

「君が代、おぼろ月夜」 唱歌委員 湯川 和洋 君



## 〇ゲスト・ビジター

株式会社 中村工務店

中村 文雄 (なかむらふみお) 様



株式会社 横田

横田 圭亮 (よこた けいすけ) 様



## 〇出席報告

会員数 43名 義務免除 2名 本日の欠席者 8名  
本日出席率 80.49% 3月14日の修正出席率 92.31%

## 〇にこにこ報告

(敬称略)

◇中村さん、横田さんをお迎えして  
愛須 勝章、上原 俊宏、緒方 雅男、木村 壽一  
畔田 実、竹村 英一、那須 壽子、橋本 隆  
本田 耕二、前田 吉彦、丸山 博之、山本 亘  
吉田 和枝、吉本 正美、渡口 眞二

◇3月末で50余年の豆腐製造業を終了しました。  
中嶋 伸和

◇先日の母のお通夜には、会長、幹事にお参り頂きあ  
りがとうございました。(多額頂きました)  
野村 憲司

◇奥様誕生日  
ひと美、誕生日おめでとう、お互い楽しく年を  
とりたいね。 佐田 一三  
片井 貢

◇本人誕生日

花の咲くいい季節に生れ落ちました。ありがたい  
です。

九重に 久しく匂え 八重桜  
のどけき春の 風を知らずや  
新庄の東光寺の八重桜が今満開です。 谷中 順次郎

竹中 悟

◇結婚記念日

最近二人で月に一回は、小旅行に行っています。  
この間、黒部ダムに行った時、階段上がったり下  
りたりなので、手をつないで歩いていたら、一緒  
のバスに乗り合わせた人から「恋人どうですか」  
と言われました。

先日の沖君の卓話で奥さんが「お父さん、最近  
やさしくなったけど、なにかあるのでは」と言っ  
ていたよ、と言われました。 杉若 雅宣

◇お花いただきます。

橘 博

## 〇本日のプログラム

LLPタモリ舎

「Hoso back yard house」  
プロジェクトについて

株式会社 中村工務店 中村 文雄 様



株式会社 横田 横田 圭亮 様



我々LLPタモリ舎は、工務店・内装工事店・ガス  
屋・土地家屋調査士・設計士・ゲストハウス経営の本  
業をもつ5人の30代の若手を中心としたメンバーで  
構成されております。

中心市街地に、「かつての賑わいを取り戻したい」、  
「田辺を守りたい」、「田辺をモリする」こんな思い  
のもと、今回のプロジェクト「Hoso back  
yard house」を実施するに至りました。

私たちが、なぜこのプロジェクトに取り組もうと思っ  
たのかといいますと、今後日本を取り巻く環境は、か  
つてない人口減少社会に直面しています。

四つのテスト：1. 真実かどうか2. みんなに公平か3. 好意と友情を深めるか4. みんなのためになるかどうか

それに伴って、住宅着工棟数の減少、空家率の増加 etc… 建設業界にとっても非常に厳しい時代の幕開けとなります。その中で、企業が生き残るためには、空き家を活用していくことが不可欠になってきます。今までの“リフォーム”というスタイルではなく、付加価値をつけて空き家の価値をあげる“リノベーション”をしていく必要があると考えました。タモリ舎の考えるリノベーションとは、「古き良きモノを守りながら、新しいモノと融合させ、人が集まる仕組みと心地よい空間作りを組み合わせることで、新たな価値を創造していく」このように考えます。

一方で、地域の課題に着目してみますと、田辺市の人口も30年後には2万人減、空家率は全国平均より5.4%高い18.9%、中心市街地の人口も2割減、空き店舗数は15年間で約80店舗も増加しています。

そんな中でも、変化の兆しとして田辺市への移住者が8年間で82世帯157人、外国人観光客が5年間で急増しているという明るい兆しもあります。田辺市観光センターの建築、田辺市熊野ツーリズムビューローが設立されることによりまして、観光客への旅行環境も整備され、更には闘鶏神社の世界遺産登録もあり、今後更なる観光客の増加が見込まれています。

しかしながら、この観光客の現状はといいますと、熊野古道への通り道として、田辺の中心市街地には、ほぼ留まらず、中辺路、本宮まで行っているという悲しい現実もあります。かつての田辺は、熊野詣の宿場町として栄えた歴史があると聞きました。我われは、そこに着目し、中心市街地にかつての宿場町の賑わいを取り戻したいという思いを持って、この「Hosobackyard house」を実施しようと思いました。

ゲストハウスで交流人口を増やし、シェアハウスで移住者や、田辺市の中心市街地外の住民を受け入れることで、定住人口を増やし、Cafe & Barで地域資源と地域住民と観光客と定住者の交流が生まれ賑わいを生み出すような、そんなプロジェクトにしたいと考えております。交流人口+定住人口+地域住民のエンゲージメント（結びつける）で、かつての賑わいを取り戻したい、こんな思いで取り組んでいます。

対象物件の場所は、紀伊田辺駅から程近い、鈴屋さんの裏手の細い路地に位置し、味光路からもすぐ近い場所です。築約80年、木造瓦葺き2階建て、敷地面積が536.65㎡（162.33坪）、建物床面積が169㎡（51.2

坪）の建物になります。この建物を、こういうイメージで、ゲストハウス・シェアハウス・Cafe & Barからなる複合施設によみがえらせます。

前述にもありますが、ゲストハウスで交流人口を増やし、シェアハウスで移住者や、田辺市の中心市街地外の住民を受け入れることで、定住人口を増やし、Cafe & Barで地域資源と地域住民と観光客と定住者の交流が生まれ賑わいを生み出すような、そんなプロジェクトにしたいと考えております。賑わいが生まれるとビジネスチャンスが拡大し、空きテナントが埋まる、それにより交流人口・定住人口が増加し、また賑わいが創出される。この好循環を生み出し、加速度的に賑わいを生み出そうと考えております。

このプロジェクトを田辺市主催のたなべ未来創造塾でブラッシュアップしながら、一昨年の10月頃よりスタートしていきました。

まずは、母屋の部分をゲストハウス・シェアハウスにするための改修工事に着手しました。日本政策金融公庫から700万円借り入れ+クラウドファンディング300万円、約1000万円の資金を集めました。クラウドファンディングとは、「こんなものやサービスを作りたい」、「世の中の問題をこんな風に解決したい」といったアイデアやプロジェクトを持つ起案者が、専用のインターネットサイトを通じて、世の中に呼びかけ共感した人から広く資金を集める方法です。

改修工事に入る前に、まずは家財道具の搬出作業からでした。必要なモノ以外すべて置き去りにになっていたのですさまじい物量でした。ワークショップ形式で参加者を募り、約20名ほどの方に協力して頂きながら作業を行いました。この人数で3回くらいに分けてようやく家財道具の整理が終わりました。ここから出てきた見えそうな古き良きモノは、再生させ実際に使用しています。

改修工事に着工してからも、内装の壁を塗る、漆喰塗りワークショップや庭の芝貼りワークショップも開催し、子供から興味のある大人の方まで、みんなで作り上げることで、この物件を知っていただいたり、ファンになってもらうきっかけになりました。

5月2日に仮オープンし、スタッフの練習期間を1週間設け、5月9日には、グランドオープンすることができました。10月まで約6ヵ月の間で、約600名の方にご利用いただいております。

次に、Cafe & Barの部分についてですが、改修工事に掛かる前に、看板メニューを作ろうということで、メンバーで議論を重ね、やはり地域資源を売りにしたいという結論になり、そこで、たなべ未来創造塾の同期生である岡本農園さんの「農人と森の番人プロジェクト」が脳裏に浮かびました。

このプロジェクトは、耕作放棄地が増え続けると、鳥獣害が増え続け、農作物の生産環境が悪化し農家が成立しなくなる。これを食い止めるために、農家の若手集団で狩猟チームを作り、鳥獣害を捕獲し、ジビエの処理・加工施設を誘致し、シェフとコラボしてジビエの肉の消費拡大を図っていき、持続可能な仕組みを作って、地域課題を解決しようというプロジェクトです。

ジビエの試食会も昨年3月に開催し、紀伊民報にも掲載されておりました。同期の岡本君のこのプロジェクトに感銘を受け、僕らもジビエの肉を活用したいと考えました。地域資源でもあり、地域課題でもあるジビエの肉の流通促進をすることで地域課題の解決をしようと決めたのです。

しかしながら、ジビエの肉を使ったメニューを作るノウハウは、メンバー内にはなく、またここでもう一人の未来創造塾同期生が力を貸してくれました。

金丸知弘くんといまして、彼は、昨年、東京から龍神に若年移住してきて、龍神でCONSERVAというカフェとパンと瓶詰め食品工房をオープンさせた方です。

もともとイタリアンシェフで本場のイタリアにも留学経験のある方でした。彼に、ジビエの肉を使ったメニュー開発の相談をしたところ、快く引き受けてくださり、開催した試食会では、ジビエバーガーの挽肉の配分を検討したり、鹿肉のローストや野菜のローストを試食したり、試行錯誤を重ねています。

こういう形で、未来創造塾の繋がりも幅広く活用しながら活動してきて、ついに、10月21日にオープニングパーティを開催することができました。

約120名の方に来ていただきまして、金丸シェフのイタリアンのオードブルと岡本農園さん、十秋園さんの柑橘の生搾りチューハイ等で、大変なにぎわいと交流の場を提供できたかなと考えております。

前述にもありますが、交流人口+定住人口+地域住民のエンゲージメント（結びつける）でかつての賑わいを取り戻したい、こんな思いで取り組んでおります。賑わいが生まれると、ビジネスチャンスが拡大し、空きテナントが埋まる、それにより交流人口・定住人口が増加し、また賑わいが創出される。この好循環を生

み出し、加速度的に賑わいを生み出そうと考えております。

この「Hoso back yard house」だけにとどまらず、中心市街地の空き店舗、空き家をどんどん利用していきたいと考えております。そしてまた、私たちと同じ志を持った方々にも、刺激を与えられたらと思っています。賑わいの創出が、それぞれメンバーの本業の仕事づくりにも繋がる、そんなLLPタモリ舎でありたいと思っています。

田辺を守るタモリ舎、こんな思いをもった我々の活動を今後とも宜しくお願い致します。

### LLPタモリ舎 5人のメンバー



### Hoso back yard houseの仕組み



四つのテスト：1. 真実かどうか2. みんなに公平か3. 好意と友情を深めるか4. みんなのためになるかどうか